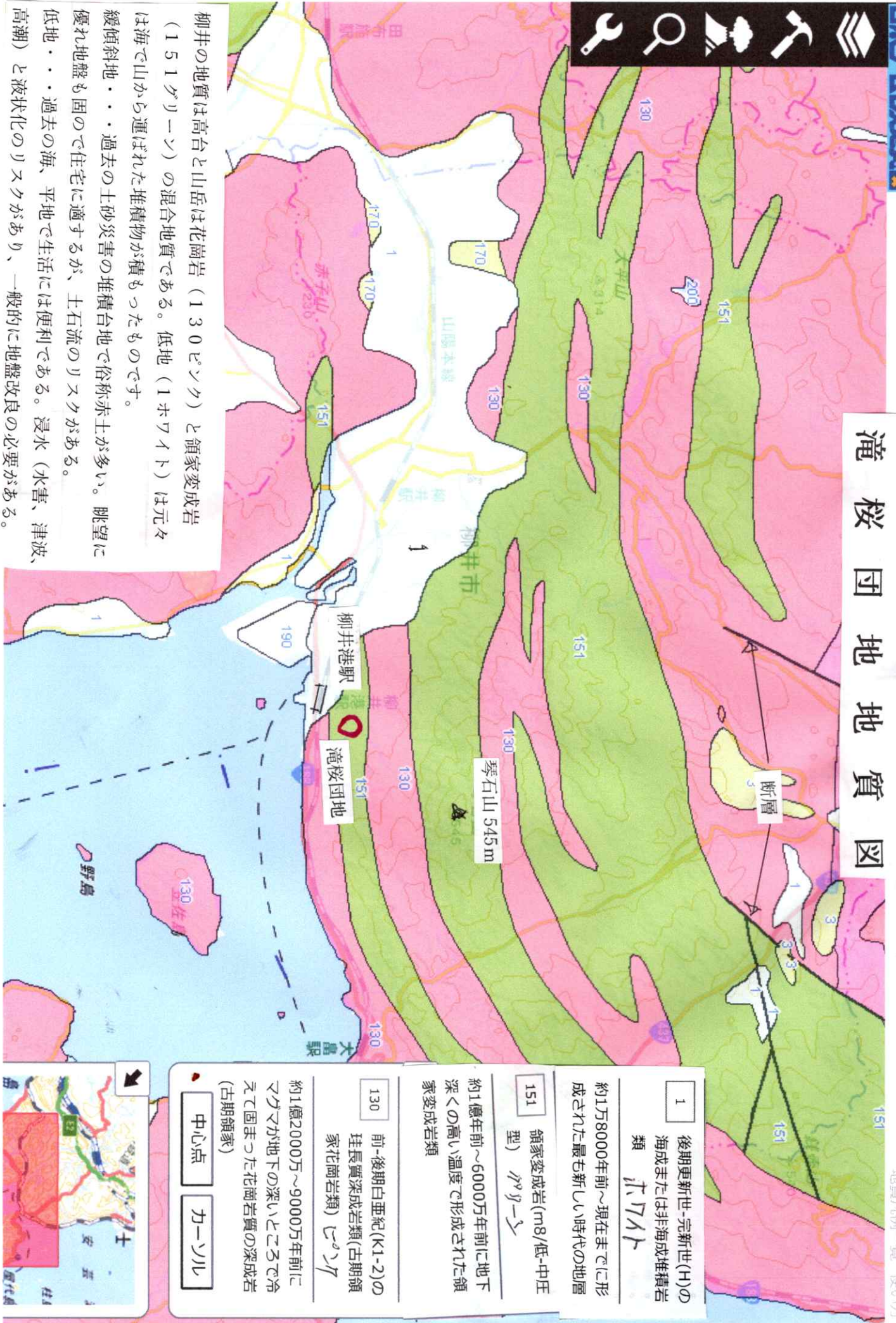


滝桜団地地質図



柳井の地質は高台と山岳は花崗岩（130ピンク）と領家変成岩（151グリーン）の混合地質である。低地（1ホワイト）は元々は海で山から運ばれた堆積物が積もったものです。緩傾斜地・・・過去の土砂災害の堆積台地で俗称赤土が多い。眺望に優れた地盤も固なので住宅に適するが、土石流のリスクがある。眺望に低地・・・過去の海、平地で生活には便利である。浸水（水害、津波、高潮）と液状化のリスクがあり、一般的に地盤改良の必要がある。

1 後期更新世-完新世(H)の海成または非海成堆積岩類
ホワイト

約1万8000年前～現在までに形成された最も新しい時代の地層

151 領家変成岩(m8/低-中圧型) **グリーン**

約1億年前～6000万年前に地下深くの高い温度で形成された領家変成岩類

130 前-後期白亜紀(K1-2)の珪長質深成岩類(古期領家花崗岩類) **ピンク**

約1億2000万～9000万年前にマグマが地下の深いところで冷えて固まった花崗岩質の深成岩(古期領家)

中心点 カーソル

